



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 サイジニア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6031 URL <http://www.scigineer.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉井 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 石塚 雅一 (TEL) 050-5840-3147
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の業績(2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	232	28.1	△10	—	△9	—	△9	—
2019年6月期第1四半期	181	23.1	△29	—	△29	—	△31	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	△4.62	—
2019年6月期第1四半期	△15.00	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	569	461	79.0
2019年6月期	562	470	81.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 450百万円 2019年6月期 460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820	18.7	△67	—	△67	—	△88	—	△42.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年6月期1Q	2,109,186株	2019年6月期	2,109,186株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年6月期1Q	一株	2019年6月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年6月期1Q	2,109,186株	2019年6月期1Q	2,079,014株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復しております。先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、通商問題を巡る緊張等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要があります。また、令和元年台風第19号など相次ぐ自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

当社が深く関連する2018年のインターネット広告媒体費のうち、運用型広告費は1兆1,518億円（前年比122.5%）を占め高い成長率となりました。また、大手プラットフォームによる事業は、広告領域だけでなく、AIスピーカーや決済領域への進出など多方面に拡大しております。（出典：株式会社電通「2018年日本の広告費」2019年2月28日）

このような環境のなか、当社は、パーソナライズ・エンジン「デクワス」をコアとする各サービスや、デジタルナレッジマネジメントサービス（以下、「DKMサービス」という）を提供し、顧客企業のインターネットを介したマーケティング活動支援に積極的に取り組んでおります。

その中でも当社の強みである、簡単にターゲティング広告を配信できる「デクワス・AD スタートバック」、画像解析エンジンによるビジュアルコマースサービスの「デクワス・VISION」を中心に、業績向上に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の既存サービスに関しては、前第1四半期累計期間に比べ、パーソナライズ・アドサービスが売上高で26.6%増と、全社の業績向上に大きく貢献いたしました。またパーソナライズ・レコメン

ドサービスにおいては6.9%増と堅調に推移しております。

2018年12月より新たに取り組みを始めたDKMサービスは、アパレル大手及び複数の金融機関や教育業界のお客様に続き、複数の小売業界大手のお客様から受注を獲得し、さらに多くの商談が進行中であります。また、2019年5月に独自のサービスとして発表いたしました「デクワス・マイビジネス」についても順調に顧客数を伸ばしております。これらDKMサービスの成果は前第1四半期比純増となり、今後は収益拡大の柱とすべく注力してまいります。

コスト面では、上記サービス分野へ計画通り投資しつつも、効率的な人員配置による労務費の削減等、全社的なコスト抑制の取り組みを継続いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は232,217千円（前年同四半期比28.1%増）、営業損失は10,981千円（前年同四半期は営業損失29,734千円）、経常損失は9,501千円（前年同四半期は経常損失29,721千円）、四半期純損失は9,738千円（前年同四半期は四半期純損失31,178千円）となりました。

代表取締役をはじめとする取締役の役員報酬については、その経営責任を明確にするべく減額を継続しております。

当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より8,106千円増加し、548,335千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の減少54,233千円、売掛金の増加35,778千円、流動資産のその他に含まれる前払費用の増加12,731千円、仕掛品の増加11,222千円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より183千円減少し21,664千円となりました。その内訳は、投資その他の資産の減少183千円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より17,225千円増加し、102,692千円となりました。その主な内訳は、買掛金の増加20,596千円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より11千円増加し、6,227千円となりました。その内訳は、資産除去債務の増加11千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より9,314千円減少し、461,079千円となりました。その主な内訳は、利益剰余金の減少9,738千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期通期の業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	446,606	392,373
売掛金	70,081	105,859
仕掛品	-	11,222
原材料及び貯蔵品	121	165
その他	24,268	39,879
貸倒引当金	△847	△1,164
流動資産合計	540,229	548,335
固定資産		
投資その他の資産		
その他	21,847	21,664
投資その他の資産合計	21,847	21,664
固定資産合計	21,847	21,664
資産合計	562,076	569,999
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,884	60,481
未払法人税等	5,532	2,717
その他	40,049	39,493
流動負債合計	85,467	102,692
固定負債		
資産除去債務	6,215	6,227
固定負債合計	6,215	6,227
負債合計	91,682	108,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,961	800,961
資本剰余金	797,961	797,961
利益剰余金	△1,138,704	△1,148,443
株主資本合計	460,218	450,479
新株予約権	10,175	10,599
純資産合計	470,394	461,079
負債純資産合計	562,076	569,999

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	181,313	232,217
売上原価	145,773	185,568
売上総利益	35,540	46,649
販売費及び一般管理費	65,274	57,630
営業損失(△)	△29,734	△10,981
営業外収益		
受取利息	13	14
助成金収入	-	1,466
営業外収益合計	13	1,480
営業外費用		
その他	0	-
営業外費用合計	0	-
経常損失(△)	△29,721	△9,501
特別損失		
減損損失	1,219	-
特別損失合計	1,219	-
税引前四半期純損失(△)	△30,941	△9,501
法人税、住民税及び事業税	237	237
法人税等合計	237	237
四半期純損失(△)	△31,178	△9,738

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。